

(Vista Version)

# Word2007

## 長文



初歩からのPCテキスト

第 1 章	段組み(だんぐみ)とセクションの関係	5
[1]	準備	5
[2]	段組みとは?【概要】	6
[3]	文書全体を段組み化する	7
[4]	段区切り	9
[5]	段区切りを解除する	10
[6]	文書内の一部のみ段組みにする	13
[7]	段組みを戻す	16
[8]	ワンタッチで[セクション区切り]→[段組み]をする	17
[9]	段組みの調整	19
[10]	まとめ	21
[11]	練習問題	22
第 2 章	箇条書きと段落番号	25
[1]	準備	25
[2]	行頭記号・箇条書き記号の設定	26
[3]	行頭記号に対する書式設定	27
[4]	特殊な行頭記号を使う	29
[5]	段落番号	30
[6]	一覧にない種類の段落番号を振る	31
[7]	利用済みの段落番号を再利用する	36
[8]	箇条書き・段落番号を解除する	38
[9]	箇条書き・段落番号付きの箇所に段落を追加する	38
[10]	箇条書き・段落番号付きの段落を削除する	40
[11]	まとめ	40
[12]	練習問題	41
第 3 章	スタイル	43
[1]	準備	43
[2]	スタイルの登録	44
[3]	登録されたスタイルの利用	45
[4]	直接新しいスタイルを登録する	46
[5]	スタイルの更新	49
[6]	罫線とスタイルの更新	52
[7]	網かけと[変更]を使ったスタイルの更新	54
[8]	文字罫線とスタイル	56
[9]	まとめ	58
[10]	練習問題	59
第 4 章	タイトルの作成	63
[1]	準備	63
[2]	垂直方向の配置を中央揃えにする	64
[3]	ページ罫線	65
[4]	ページ罫線のオプション	68
[5]	まとめ	70
[6]	練習問題	71
第 5 章	ヘッダーとフッター	72
[1]	準備	72
[2]	ヘッダーとフッター【概要】	73
[3]	ヘッダー/フッターの編集	73

【4】	ヘッダーの編集 .....	77
【5】	フッターにページ番号を設定する.....	79
【6】	まとめ.....	81
【7】	練習問題.....	82
第 6 章	セクションの活用 .....	88
【1】	準備 .....	88
【2】	特定の部分だけページ設定を変更したい.....	91
【3】	セクションとは【概要】.....	92
【4】	ページ設定を変更させたい部分だけを独立したセクションとする.....	94
【5】	その他のページ設定とセクション.....	96
【6】	セクション区切りの使用例【参考資料】.....	99
【7】	セクション区切りがある文書内で、全体に対してページ設定をする.....	103
【8】	まとめ.....	104
【9】	練習問題.....	105
第 7 章	セクション単位でのヘッダー/フッター .....	113
【1】	準備 .....	113
【2】	ヘッダーの性質の確認.....	115
【3】	文書の一部・セクション単位でのヘッダー/フッターの指定【概要】.....	117
【4】	指定したセクションだけにヘッダーを作成しようとする.....	118
【5】	後ろのセクションで[前と同じ]を解除する .....	121
【6】	セクション単位で異なるフッターを使う 1 .....	124
【7】	セクション単位で異なるフッターを使う 2 .....	128
【8】	ヘッダーに図形・ワードアートを採用する.....	130
【9】	ヘッダーに使用している図形を動かす .....	133
【10】	まとめ.....	135
【11】	練習問題.....	136
第 8 章	目次と見出しレベル.....	143
【1】	準備 .....	143
【2】	目次の対象とする段落を見出しにする .....	144
【3】	目次の更新 .....	147
【4】	見出しマップと小見出し .....	149
【5】	目次の再設定 .....	152
【6】	見出しスタイルを更新する .....	153
【7】	まとめ.....	157
【8】	練習問題.....	158

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
  - 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のもので、現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
  - 本文中には™, ®マークは明記していません。
  - 本書は著作権法上の保護を受けております。
  - 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
  - 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
  - この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
    - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
    - ◆ 発行人 三橋信彦
    - ◆ 発行 〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NSビル 6F
    - ◆ 定価 ¥5,040 円

# 第1章 段組み(だんぐみ)とセクションの関係

## 【1】 準備

以下のような文章を入力して下さい。また、以下のようにフォントの色を設定して下さい。

二年生の五・六月度アンケート集計結果が発表されました！

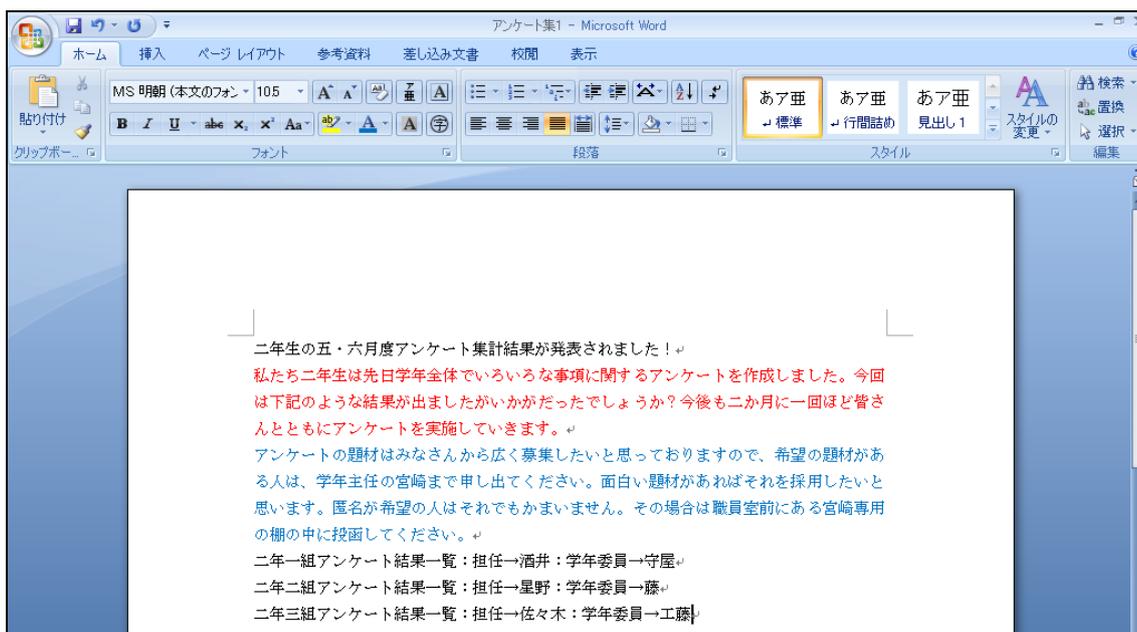
私たち二年生は先日学年全体でいろいろな事項に関するアンケートを作成しました。今回は下記のような結果が出ましたがいかがだったでしょうか？今後も二か月に一回ほど皆さんとともにアンケートを実施していきます。

アンケートの題材はみなさんから広く募集したいと思っておりますので、希望の題材がある人は、学年主任の宮崎まで申し出てください。面白い題材があればそれを採用したいと思います。匿名が希望の人はそれでもかまいません。その場合は職員室前にある宮崎専用の棚の中に投函してください。

二年一組アンケート結果一覧：担任→酒井：学年委員→守屋

二年二組アンケート結果一覧：担任→星野：学年委員→藤

二年三組アンケート結果一覧：担任→佐々木：学年委員→工藤



## 【2】 段組みとは？【概要】

- (1) 「段組み(だんぐみ)」とは、百科事典・辞書や雑誌記事のように、ページを左右のブロックに分け、左の段の後に右の段を続ける文書形式です。なお、下記のような文書形式を「2 段組み」と言います。

<p><u>スマートメディア</u> 初期のオリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラに採用されていた記憶媒体です。開発元は東芝でした。記憶容量は最大 128MB。デジタルカメラの黎明期は、このスマートメディアと後述のコンパクトフラッシュのいずれかを採用していた製品がほとんどでした。しかしながら、大容量化に対応できなかったようで、128MB の製品が最後に市場に出回りました。この後、オリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラには、大容量化に対応した、xDピクチャ</p>	<p>ーカードが採用させるようになります。</p>
---	---------------------------

(2 段組みの例)

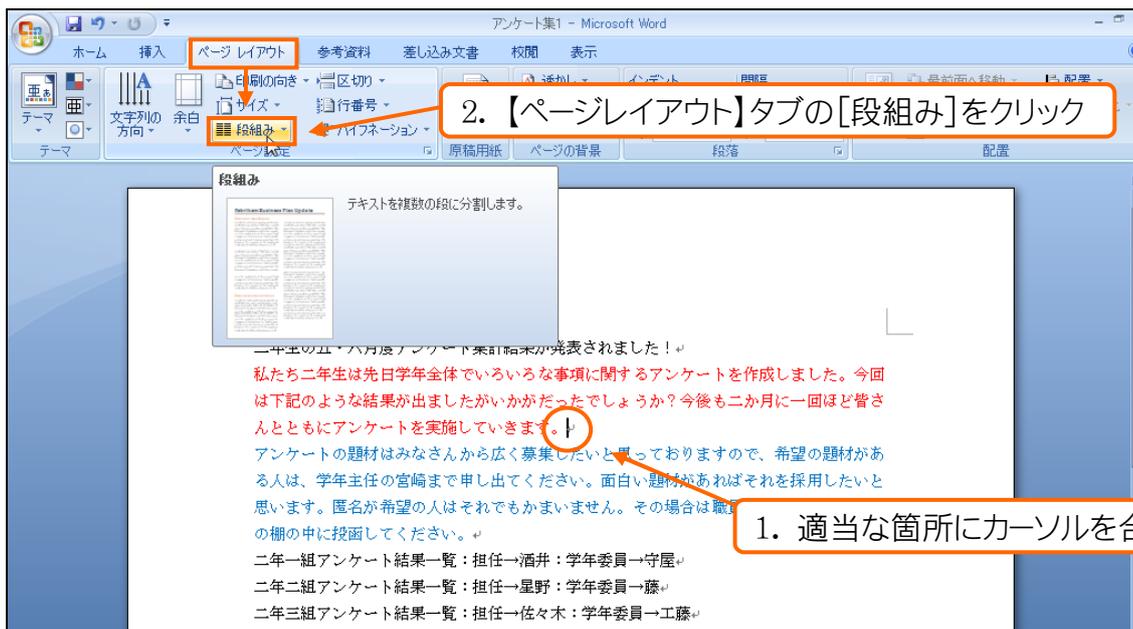
- (2) 「3 段組み」になると、左・中央・右の順に段が続きます。なお、新聞や国語辞典は「縦書きの段組み」であると言えます。

<p><u>スマートメディア</u> 初期のオリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラに採用されていた記憶媒体です。開発元は東芝でした。記憶容量は最大 128MB。デジタルカメラの黎明期は、このスマートメディアと後述のコンパクトフラッシュのいずれかを採用していた製品がほとんどでした。しかしながら、大容量化に</p>	<p>対応できなかったようで、128MB の製品が最後に市場に出回りました。この後、オリンパス・富士フィルム製のデジタルカメラには、大容量化に対応した、xDピクチャーカードが採用させるようになります。 <u>SD カード</u> SD メモリーカードとも呼ばれます。SD カードは 2GB までの規格でしたが、現在は</p>	<p>その上位企画である SDHC メモリーカードが流通していません。これは、最大 32GB までをサポートしている企画です。ただし、2007 年 2 月現在においては、8GB までの製品が流通しています。</p>
--	--	---

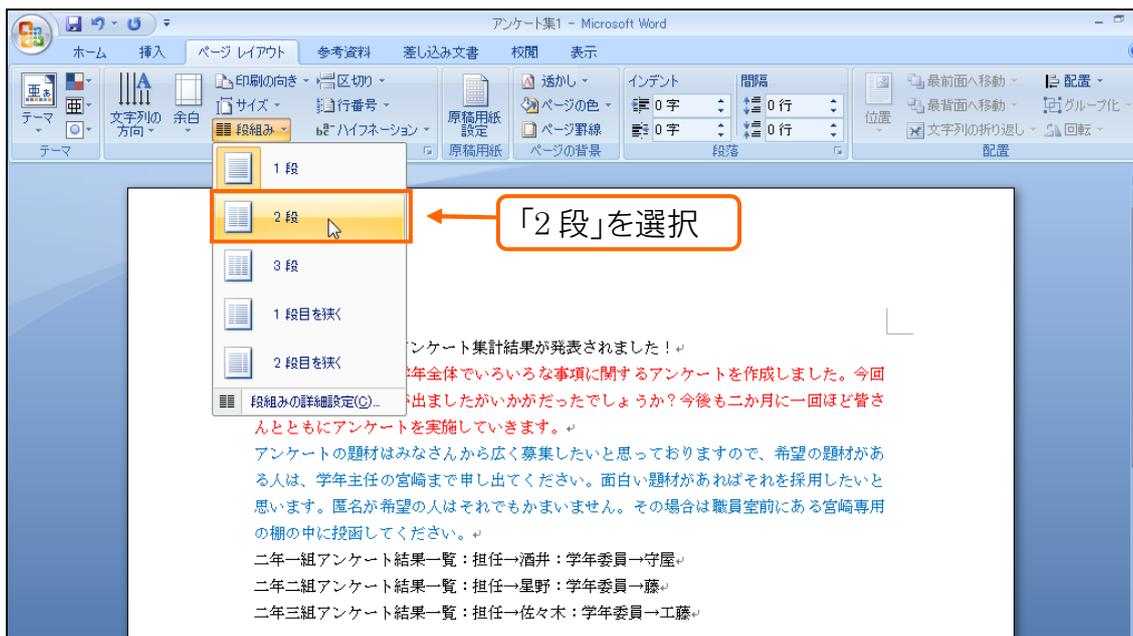
(3 段組みの例)

### [3] 文書全体を段組み化する

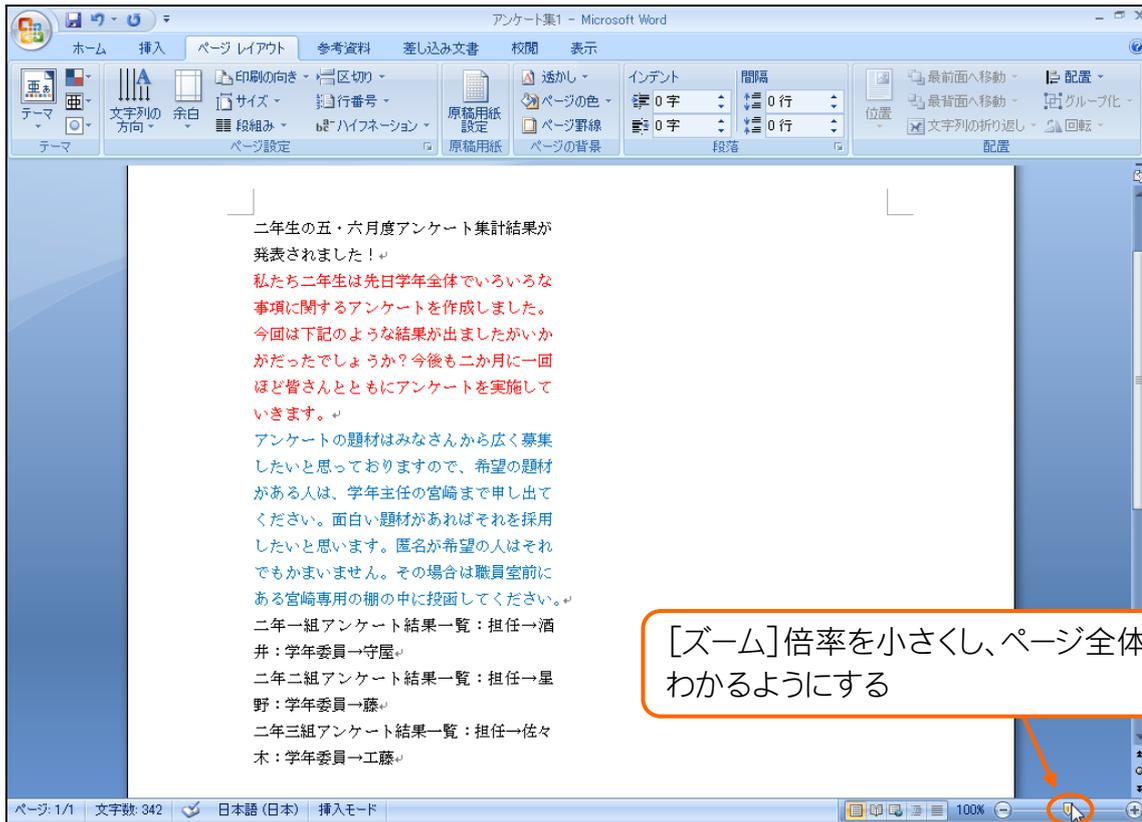
- (1) 文書全体を段組み化します。その場合には「何も範囲選択はしていない」状態にしておきます。適当な箇所にカーソルを合わせた状態で【ページレイアウト】タブの[段組み]をクリックします。



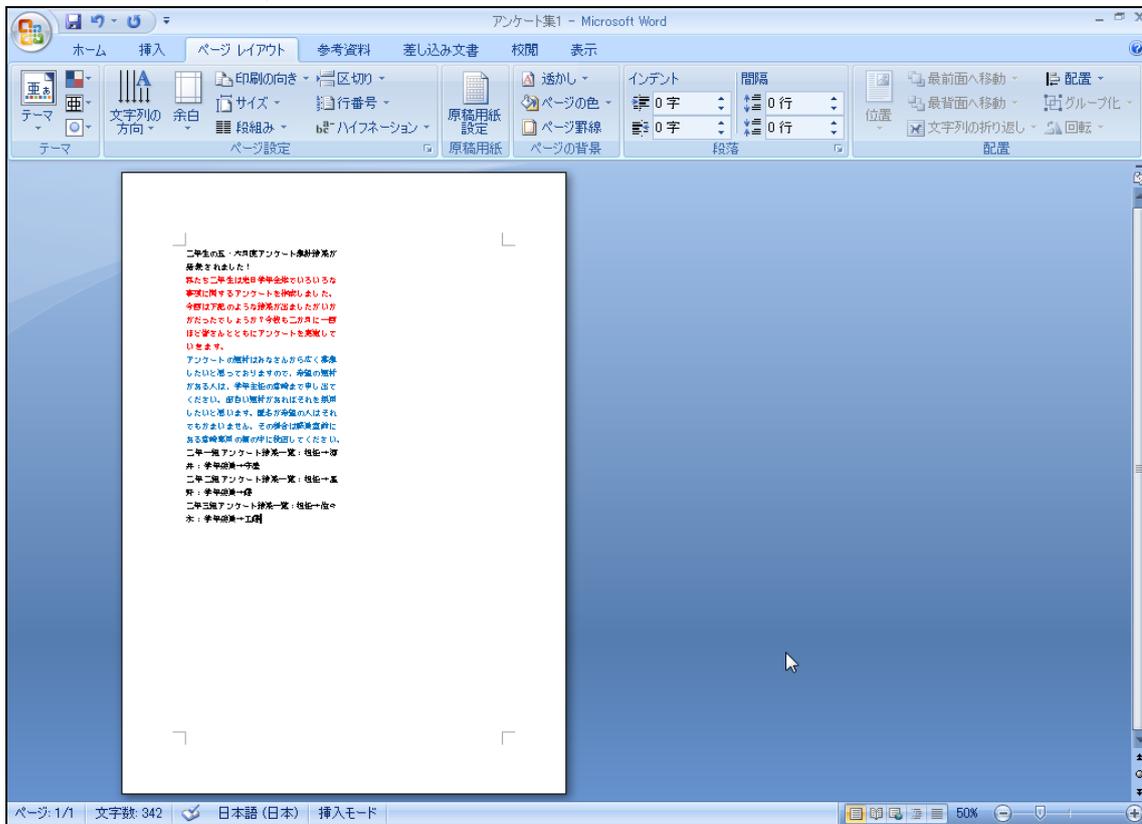
- (2) 「2段」を選びましょう。



- (3) すると、確かに2段組みにはなっているのですが、わかりにくい状態になります。全体像を見るために [ズーム] 倍率を小さくしましょう(50%など)。

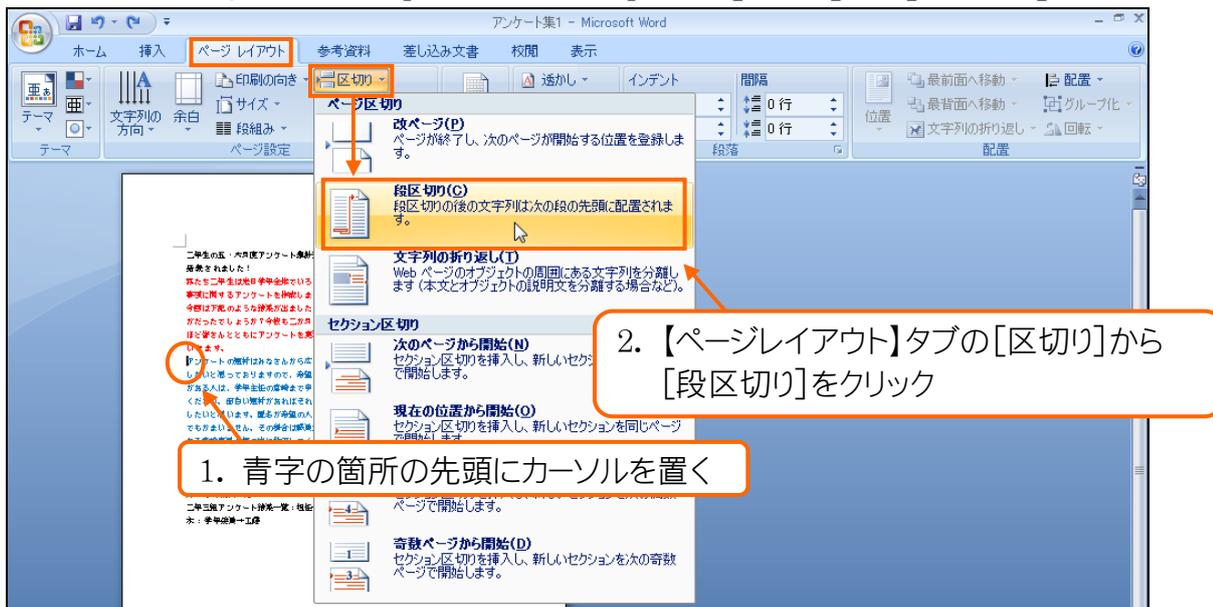


- (4) 現在、文章量が少ないので左の段に寄ってしまっているのです。次に青字の部分以下を右の段に移動させます。

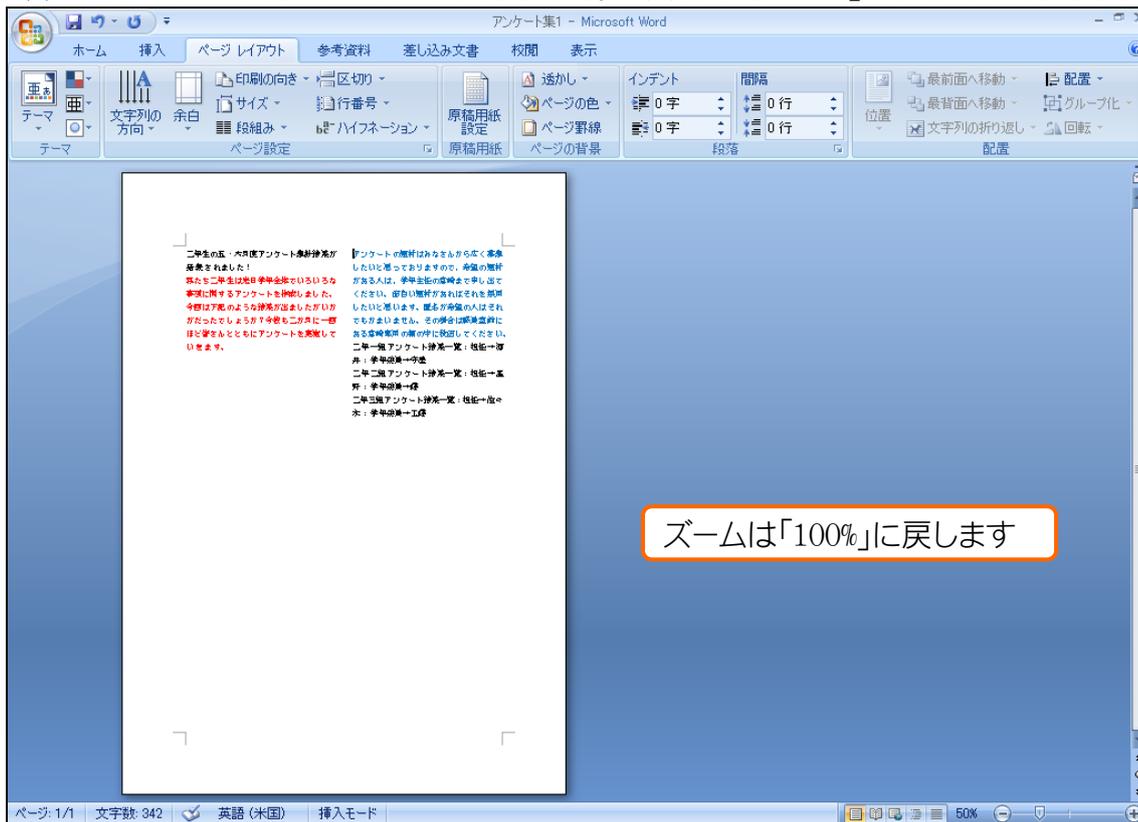


## 【4】 段区切り

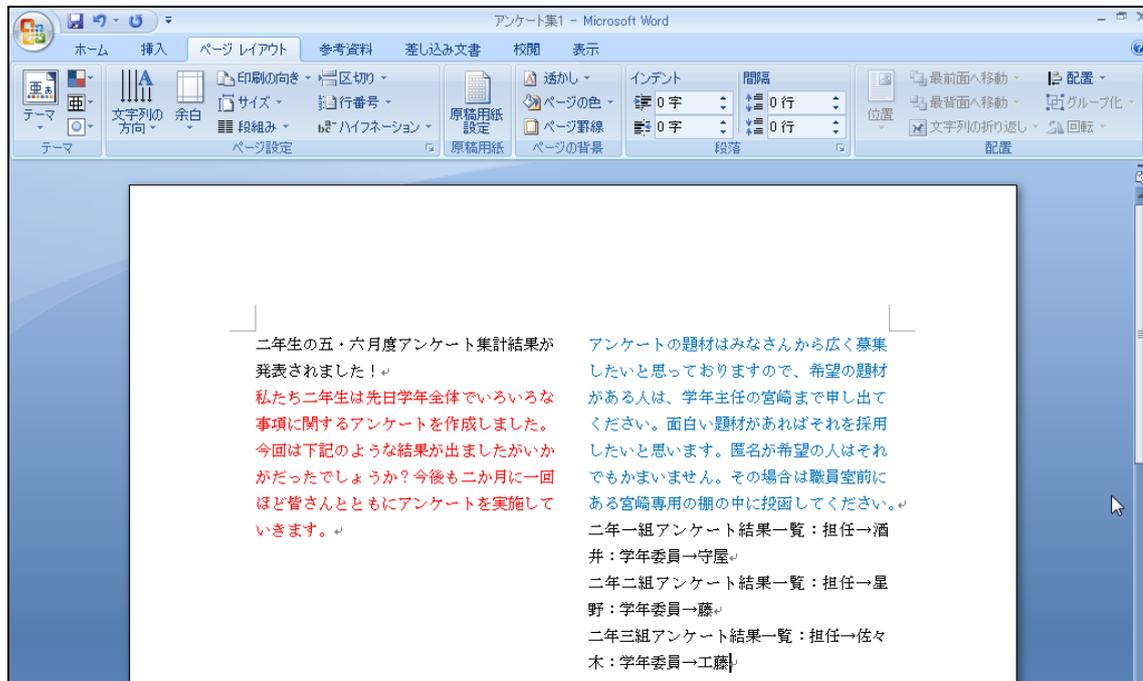
- (1) 段組み設定をした後、ある箇所以降を次の段に移動させる命令が「段区切り」です。ここでは青字の箇所以降を右の段に送ります。段区切りをする際には移動させたい箇所の先頭にカーソルを置いておきます。その状態で【ページレイアウト】タブの[区切り]から[段区切り]をクリックします。



- (2) 青字以降の文が右の段に移動しました。画面倍率を「100%」に戻しておきましょう。



(3) このように、「段組み」をした後は、右の段へ送る箇所の先頭で「段区切り」をするのです。



## 【5】 段区切りを解除する

(1) 段区切りを解除するには編集記号である「段区切り」記号を削除する必要があります。記号が表示されていない場合は、[編集記号の表示/非表示]で表示させる必要があります。【ホーム】タブからオンにして下さい。

